



益を森林所有者に還元できるシステム」を構築するため、①素材生産量の拡大、②担い手の確保・育成、③需要の確保・拡大の3つを重点プロジェクトとして位置づけています。また、これらの取組を円滑かつ適切に実行していくための司令塔として「新たな法人」を設立します。

各プロジェクトに関する議論を行うため、協議会の下部組織として専門部会を設置しています。①から③の事業概要は、次のとおりです。

### ①素材生産量の拡大

これまでの間伐主体から主伐・再造林を取り入れ、森林の集約化を行い、市有林を核とした私有林とのシームレスな新たな包括経営手法（森林信託等）の開発・導入を目指します。

### ②担い手の確保・育成

やまぐち森林担い手財団・森林組合・



長門市林業・木材産業成長産業化推進協議会設立総会



専門部会



県内初のウッドスタート宣言（木育の推進）



長門おもちゃ美術館（木育推進拠点施設）



新庁舎エントランス棟 内観  
（本年8月に竣工を迎える新庁舎）

林業事業者による新規就業者の確保育

成対策と連携した素材生産事業者の技能向上や林業及び木材産業の人材確保・定着に対する支援を行います。また、「木育」と連携した木工分野における起業・人材育成の支援を行います。

### ③需要の確保・拡大

本年8月に竣工を迎える市新庁舎をはじめ公共建築物への市産材の活用や木育の推進による木材自給の促進、全国的に稀な群生するシイの木などの広葉樹を活用した木質建材の商品化・ブランド化の推進による木材外商の促進等を目指します。



## 3 今年度の具体的な取組

### 「新法人の設立」

・新法人の具体的な役割を明確化し、法人運営に係る人材の公募を行います。

### 「素材生産量の拡大」

・森林資源量の把握調査として、航空レーザー測量を行います。また、森林所有者に対し、森林の集約化や所有森林の経営などの意向調査を行い、調査結果と航空レーザー測量の解析結果を照合し、集約化及び主伐・再造林候補地の選定及び路網整備計画を作成します。

### 「担い手の確保・育成」

・再造林の促進や一貫作業による施業の低コスト化を図るため、コンテナ苗の生産体制に関する調査研究を行います。

・木育を推進する市内NPO法人と連携し、木工職人の育成研修を行います。また、素材生産事業者の担い手を確保するために、県内、県外の研修施設との連携体制の構築を行います。

### 「需要の確保・拡大」

・市産材の活用を促進する取組として、

市産材のサプライチェーンの構築やトレサビリティを確保し、市産材活用住宅の定義を確立します。また、「長門らしさ」や「健康住宅」といった多彩なコンセプトに対応した仕組みを検討します。



## 4 おわりに

本市は、林業の先進地ではありません。専門的な知見を持つ協議会委員の皆様から林業やその取り組み方を学び、地域が一体となって試行錯誤しながら地域構想の具現化を模索しています。ただ、先進地でない本市だからこそ、これまでの林業の常識とは別の角度から林業振興を図り、本市オリジナルの林業成長産業化事業を全国へ発信したいと考えています。